

# 令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」  
～分野1 安心して暮らし続けられるまちづくり～

政策2 人と自然に優しく質の高い住宅・住環境づくり

本文P30～31

基本方針

地域の特性や町民のニーズに対応した、人・自然に優しく質の高い住宅・住環境の整備に努めるとともに、空き家の有効活用、廃屋対策を推進して、定住人口の促進のため総合的な住宅施策を進めます。

1-1-2-① 安心・安全・快適な住環境の整備

担当課

建設課

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○個人住宅への支援事業である「耐震・安心住まいづくり支援事業」「子育て応援住宅支援事業」の周知を回覧及びホームページにおいて行ったが相談等はなかった。また、老朽危険空き家除却費補助事業(除却意識の醸成の目的で解体費を支援する制度)を広報紙及びホームページにて周知し、29件の相談中10件の活用があった。</p> <p>○住民からの相談を受けて、老朽危険空き家の所有者等を特定し、適切な措置を講じるよう文書にて通知を行った。また今まで相談が寄せられた空き家についても再調査を行い、状況の確認等を行った。</p>	
SDGsとの関係性	 	<p>【選定理由】</p> <p>台風等に対する安全性の確保を促進し、災害に強い包摂的で安全かつ強靱な持続可能なまちづくりを目指す。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○耐震・安心住まいまちづくり支援事業、子育て応援住宅支援事業は、毎年広報紙及びホームページで周知を行っていたが、事業に対する関心が高くないことから相談・活用がなかった。</p> <p>○空き家については、所有者等を特定するのに時間を要するケースや、文書を送付しても反応のないケースが多い。</p>	
今後の取組方針	<p>○耐震・安心住まいまちづくり支援事業については、引き続き予算を確保し申請があった場合に対応できるようにする。</p> <p>○老朽危険空き家の相談は毎年新たな案件が発生している。家屋が特定空き家等に該当しないうち出来るだけ速やかに所有者等の調査を行い適切な措置をとるよう通知を行う。</p>	

## 2. 重要業績評価指標(KPI)評価

設定なし

1-1-2-② 住民のニーズに対応した公営住宅の充実

担当課

建設課

## 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○平成23年度及び令和3年度に策定した公営住宅長寿命化計画に基づき、6年度は小島団地建替事業に伴う駐車場整備が完了。また、既存公営住宅の長寿命化を図るため、金山団地と小島ノ浦団地の外壁等の改修工事を行った。更に、つづけ丘団地の隣接地に「特定公共賃貸住宅」を建設するにあたり、実施設計業務委託を行った。</p>	
SDGsとの関係性	  	<p>【選定理由】</p> <p>社会環境の変化や価値観の多様化に対応した豊かな住生活を、所得水準の低い方において実現することで不平等をなくし、住環境の整備を行い、住み続けられるまちを目指す。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○小島団地の駐車場を整備することで居住者の利便性の確保が図られた。また、既存の金山・小島ノ浦両団地の改修工事により建物の長寿命化を図ることができた。</p>	
今後の取組方針	<p>○引き続き、長寿命化計画に基づいて町営住宅の改善・建設事業等を実施する。</p> <p>○7年度は、特定公共賃貸住宅2棟の建設(新築)や既存住宅(茂串第二)の改修工事等を行う。</p>	

2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価 ※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1 ★ まち	高齢者対応住宅戸数	高齢者が安全で快適な生活ができるよう設備と設計を行った住宅	戸	16	24 24	24 24	40 24	40 40	40 40	100.0%	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	建設課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	小島団地の建替事業が完了。										A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										C
	小島団地の建替事業(駐車場整備を含む)が完了したため、現状の課題は解決されたものと判断。										A
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R5
	特になし。										A

2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価 ※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
2 ★ まち	バリアフリー対応住宅戸数(累計)	子どもから高齢者まで安心・安全に生活できる住宅(段差の解消、手摺り設置など)	戸	30	42 42	42 42	58 42	60 60	60 60	100.0%	
	《成果指標の進捗状況》					担当課	建設課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	小島団地の建替事業が完了。										A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										C
	小島団地の建替事業(駐車場整備を含む)が完了したため、現状の課題は解決されたものと判断。										A
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										R5
	特になし。										A

### 1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○都市圏で開催された移住相談会への参加、空き家バンクを活用した移住相談対応、移住定住支援情報ホームページ「交流プラザ」や移住人材マッチングサイト「SMOUT(スマウト)」を活用した情報発信に取り組みました。</p> <p>また、若者の定住及び就労を促進するため、住宅取得支援に係る補助金の交付や、新たに町内で就労した方に対する奨励金を交付しました。</p> <p>さらに、移住希望者が本町の風土や日常生活を体験できる「お試し住宅」の運用を行うとともに、令和4年度から改修を進めていた移住者向け住宅(移住定住促進住宅)全3棟の工事を完了し、公募による入居者の選定を経て、若者の定着及び移住・定住の促進を図りました。</p>	
SDGsとの関係性	  	<p><b>【選定理由】</b></p> <p>若者の島外流出を減らし、移住者を増やすような定住に関する取組を行い、持続可能な地域、まちづくりの形成を図る。</p>
評価(問題点とその要因)	<p>○本町へ移住を希望し、相談される方は一定数あるものの、移住希望者が求める「住まい」や「仕事」といった条件と、町側が提供できる資源との間にミスマッチが生じており、円滑な受け入れにつながっていないのが現状です。</p> <p>特に、空き家バンク制度については、物件の登録が進まないことに加え、所有者が売却を希望する一方で、移住希望者の多くは賃貸を希望していることから、ニーズの不一致が生じています。そのため、制度の十分な活用が難しい状況にあります。また、過疎地域であることから就労機会が限られており、移住希望者への職業紹介にも苦慮しているのが実情です。</p>	
今後の取組方針	<p>○本町への移住を促進するためには、魅力ある「しま暮らし」の情報を積極的に発信し、「暮らしたいしま」として選ばれる地域づくりを進めることが重要であるため、地域の賑わいを創出し、しまの魅力や生活を多様な媒体で情報発信し、移住希望者が定着するまでの支援を一貫して行い、人口減少対策につなげていきます。</p> <p>また、移住希望者とのミスマッチを解消するため、空き家バンクへの登録物件数の増加を図るとともに、町が管理を委託する新たな空き家活用の仕組みの検討を進めます。</p>	

### 2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	町移住相談窓口を通じての移住世帯数(累計)		世帯	115	130	145	160	175	190	100.0%
	《成果指標の進捗状況》				担当課	地域づくり課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
1 ★ 横断	人口の減少を緩やかにし、地域の活性化を図ることを目的として、本町では、都市圏での移住相談会への参加、空き家バンクの運用、住宅取得や就労支援に対する補助金制度、移住促進住宅の整備など、多面的な移住定住促進施策に取り組んできました。あわせて、移住定住支援情報の積極的な発信や「お試し住宅」の運用を進めたことで、移住希望者との接点拡大が図られ、移住相談件数も増加しました。 これらの取組の結果、当初設定していた目標を大きく上回る移住世帯数を達成することができました。									A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取組み									R4
	①課題									A
	移住希望者のニーズと一致する「住まい」や「仕事」その他生活関連の情報発信と地域の賑わいを創出する施策に取り組む必要がある。									R5
	②必要な取組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取組みを記載									A
	今後は、移住希望者の多様化・個別化するニーズに的確に応えるため、ニーズと一致する「住まい」や「仕事」の情報発信を一層進めるとともに、民間事業者や地域団体等との連携を図りながら、きめ細やかな移住相談対応体制の構築を推進していく必要があります。また、地域の賑わいを創出する事業を協働で進め、または、支援を行う。									R6
										A

2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価 ※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
2 ★ 横断	町移住相談窓口を通じての移住者数(累計)		人	223	248	273	298	323	350	100.0%	
					272	309	335	395	449		
	《成果指標の進捗状況》					担当課	地域づくり課			R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	<p>人口の減少を緩やかにし、地域の活性化を図ることを目的として、本町では、都市圏での移住相談会への参加、空き家バンクの運用、住宅取得や就労支援に対する補助金制度、移住促進住宅の整備など、多面的な移住定住促進施策に取り組んできました。あわせて、移住定住支援情報の積極的な発信や「お試し住宅」の運用を進めたことで、移住希望者との接点拡大が図られ、移住相談件数も増加しました。これらの取組の結果、当初設定していた目標を大きく上回る移住者数を達成することができました。</p>										A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										A
	<p>移住希望者のニーズと一致する「住まい」や「仕事」その他生活関連の情報発信と地域の賑わいを創出する施策に取り組む必要がある。</p>										R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										A
<p>今後は、移住希望者の多様化・個別化するニーズに的確に応えるため、ニーズと一致する「住まい」や「仕事」の情報発信を一層進めるとともに、民間事業者や地域団体等との連携を図りながら、きめ細やかな移住相談対応体制の構築を推進していく必要があります。また、地域の賑わいを創出する事業を協働で進め、ま</p>										R6	
										A	

2次評価委員会からの評価・意見等

全ての重要業績指標において目標達成できた。町営住宅の改修整備は計画に基づき計画どおり実施できたことで目標の達成に至り、移住関係施策においても移住定住促進住宅の整備などハード部分での受入体制を整えたことにより、相談件数及び町移住相談窓口を通じての移住者数ともに順調に増加した。人口の社会減抑制の為に直接的な効果が期待できるU・ターンの推進について今後も継続して取り組んでいく必要がある。。